



今富っ子(いまとみっこ)

小浜市立今富小学校 令和8年9月25日<NO.4>

今富小学校

検索



自分の行動は、自分にしか決められないもの

校長 古跡 修聡

子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきてから、1ヶ月ほどが経とうとしています。今年は、9月に入ってから天候がすぐれず、連日、雨となっています。おかげと言っていいのか分かりませんが、昨年のように35度を超えるような猛暑日はほとんど無く、子どもたちは元気に学校生活を過ごしています。2学期の始業式で、「夏休みのお話をしに校長室に来てくださいね。」と話をしたところ、複数の子どもたちが校長室を訪れ、楽しかった夏休みの思い出を話してくれました。特別な場所や経験を話してくれた子、何気ない日常の出来事が心に残った子、色々な話がありましたが、子どもたちにとって、様々な経験や思い出ができた、貴重な機会だったのだと感じました。学校がお休みだったため、毎日のお昼ご飯、宿題の確認、生活リズムの確保など、各ご家庭、きっと大変だったことと思います。しかし、楽しそうに話している子どもたちの話を聞いていると、学校ではできないことを経験できる貴重な機会だったのだと、改めて感じることができました。以前にもお伝えしましたが、学校でできないことをご家庭で、ご家庭で手が届かないことを学校で、2学期も学校とご家庭がお互いを補い合っているような関係であれたらと思っています。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、9月16日(水)から、4～6年生による小浜市陸上記録会に向けた練習が始まり、代表に選ばれた63名と、昨年同様自主的に持久走練習に参加希望をした23名の86名が練習に参加をしています。連日、朝活動の時間、昼休み、放課後とグラウンドに出てきて練習をする子どもたちの姿が見られます。自分の体力・技術の向上を目指し、前向きに取り組む子どもたちの姿を見て、「いいぞ!」「がんばれ!」と心の中で応援している毎日です。

先日、こんなことがありました。その日は選手を選考するため、4年生から6年生の全員が参加する校内陸上記録会の日でした。あいにく、前日までの雨続きで、グラウンドには水が溜まり、記録会に支障が出るような状態でした。朝、7時頃から担当の教員がグラウンドで「水取り」を始め、出勤してくる職員が次々にグラウンドに出てきて作業をおこなっていました。すると、登校を終えた子どもたち数人が、児童玄関から走ってグラウンドに向かったのです。「先生手伝います。」と。その後、次々とグラウンドに出てくる子どもたちが・・・野球部のスポンジを借りて、手をドロドロにしながら「水取り」をするたくさんの子どもたちがいました。後から、聞いた話では「自分たちが記録会をするのに、先生に準備を任せるのはおかしいと思って手伝いに来ました。」と答えた子がいたそうです。

今年は、陸上記録会練習が始まるまでに数時間をとって、「チーム今富とは?」ということについて皆で考える機会を持ちました。選手に選ばれた子たち、惜しくも選手に選ばれなかった子たち、それぞれが、どのようにこの陸上記録会を捉え、それぞれの立場でどのように考え、行動するのかということ話し合いました。選手は「選手としての責任ある行動をしたい。」という思いが、選手以外の子からは「選手を応援して支えたい。」という思いが語られました。また、両方の子どもたちから共通して出てきた言葉が「当たり前前を当たり前にする。」という言葉でした。あいさつ・発表・掃除・当番・宿題など、やるべきことにしっかりと取り組むという意味です。言葉で表現することは簡単ですが、この言葉の真の意味を理解し、その言葉に責任を持つことがどれだけ難しく、大切なことであるのかに、気付いている子どもは、そう多くはないのではないかと思います。先に紹介した出来事は、これらの話し合いをする前の出来事でした。だからこそ、余計にこの子どもたちの姿を見て、嬉しく感じたのだと思います。

「選手だから、選手ではないから」ではなく『今富っ子』として、そして、『人として』どのような生き方をしたいのか。」を考える機会になることを願っています。それが、陸上記録会という行事を、4年生から6年生全員が「チーム今富」として取り組むという意味だと思います。子どもたちの成長を楽しみに、毎日応援したいと思っています。

10月の主な予定

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 (木) 1・2年生交通安全教室 | 20 (火) 遠足(1～4年生) |
| 7 (水) 市小学校陸上記録会 | 予備日 10/21(3・4年のみ順延) |
| 予備日 10/8, 10/9 | 23 (金) 4年生校外学習 |
| 12 (月) スポーツの日 | 28 (金) マラソン大会 |
| 15 (木) 修学旅行(6年生) | 予備日 10/29, 10/30 |
| 10/16まで | 30 (金) 就学時健康診断 |

前号訂正のお知らせ 就学時健康診断 9/24(木) ⇒ 10/30(金)

遠足(1～4年) 9/29(火) ⇒ 10/20(火) に変更となりました。

きき合う関係が生まれ始めた教室

7月に実施した全校アンケートで、「授業は楽しくて分かりやすい」と答えた児童が**85%を超えました**。注目したいのは、その理由です。「自分だけが分かる」ことも嬉しいことです。しかし、「**仲間と一緒に分かる**」からうれしい、そう答える児童が数多くいました。子どもたちの声を、いくつかご紹介します。

- ★ 自分が、友達の話で、きづいたこと。
- ★ 学校のめあてやスイミーの話の話し合いが楽しかったです。(2年生)
- ★ 話し合った時、自分とやったことと友達は違って「それもいいな」と思ったことがいっぱいあった。
- ★ クラブですいそうのあらいかたをおしえてもらって学んだ。
- ★ 僕が説明が苦手で説明がわからなかった時に分かった人が代わりに説明をしてくれた。
- ★ 隣や周りの人と話して言葉の意味がわかることの Copp とかどうやって教えるかなどでそうやって言うんだという学んだことが多くなって良かったです。
- ★ 隣の人が教えてくれたり自信も持たせてくれることです。
- ★ 誰かが発表したときに、わからないひとがわからないことを質問していたり、それに答えられていたりするのがいいと思います。(5年生)
- ★ 素敵な話し合いは、わからないことを細かく指摘できたり「なるほど！」や、「いいね！」という相手をほめ合う気持ちが大切に素敵な話し合いだと思います。(5年生)
- ★ 書いたあとにメモをしているから聞いてくれているなと思います
- ★ はんで話し合うとよくわかるから 説明的文章で問いと答えを見つけるときに、なぜそこなのかを話し合ったのがおもしろかった。(3年生)
- ★ いつも友だちとはなすときに、自分の意見と交かんしようと話します。(3年生)

これらの言葉からは、友達の発言を**最後まできく**、わからないことを**安心して質問**できる、自分と違う考えに触れて「**なるほど**」と**発見**する、そうした関係が教室の中に育っていることが伝わってきます。

「きく」ことは、相手の存在を認め、大切にすることそのものです。互いにきき合う関係があるからこそ、子どもたちは安心して自分の考えを話し、間違いを恐れずに挑戦できます。今富小学校は、この「**聴き合う関係づくり**」を、2学期以降も大切にしていきます。

教師からの一言

正木 啓敬

私は、ひまわり畑のある宮川地区に住んでいます。毎年8月初旬の暮れどき、各地区から、松明の炎と鉦・太鼓の音が響き渡り、農作物の害虫を集め豊作を祈る「虫送り」の行列が、旧宮川小学校へと集まってきました。その幻想的な光景は、何度見ても、言葉を失うほどの感動を覚えます。しかし、その裏側には、人口減少による担い手不足という厳しい現実があり、伝統を次の世代へつなぐことの難しさを、実感しています。

本校において壬生狂言クラブに携わってくださる地域の方々の思いも、きっと同じはずです。言葉に頼らず、所作と面だけで人の心を動かす、あの伝統芸能を子どもたちと共に守り続けようとする姿には、ふるさとへの深い愛情を感じます。「続けること」は、時に孤独で根気のいる営みです。それでも、祭りの炎は毎年灯り、狂言の面は次の手へと渡されてきました。ふるさとの宝は、誰かの「手放さない」という強い思いによって生き続けています。私もその一人でありたいと、虫送りの夜に感じました。

「今富っ子」に関するご感想、ご意見はこちらまで

<https://forms.gle/DZXZ7k5iS82f6SQe7>

